

## 日中サービス支援型グループホーム 評価一覧

項目	A事業所	B事業所	C事業所
利用者の主な日中の活動について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が資格所得を目指すのは良いこと。何の資格が取れてどのように活かしているのか具体的に知りたい。</li> <li>・内部・外部どちらも選択できて良い。</li> <li>・PCでの学習サポートで、どんな資格が取得できるのか。</li> <li>・なるべく多くの利用者が外出や他のサービスを利用し閉鎖的な生活を送らないよう取り組んでほしい。外部を利用できない課題はどんなことがあるか。</li> <li>・軽作業ができる環境を整えていることは評価したいが、どんな作業をしているのか分からない。</li> <li>・外部の日中活動サービスを利用している方がいることで外部との関わりがあることは評価したい。</li> <li>・日中活動が個々の目標に応じて設定され、学習サポートや、軽作業にも達成目標を設定しており大変良い。</li> <li>・利用者の馴染みの場所へ通所送迎されており評価できる。医療的ケアのある方のトラブル時への対応など問題ないか。</li> <li>・日中活動に参加している利用者の割合はどのくらいか。</li> <li>・日中活動はGHの取組か、個人単位で契約しているヘルパーとのケア内容の一部か。</li> <li>・サービス内容をニーズに合わせて行っている。実態は見えずらい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所独自に工夫したり特色を出している内容がわかると良い。</li> <li>・体調が悪く外部の日中サービスを受けられない利用者の通院等はどのようにしているか。</li> <li>・外部の日中サービスを利用できない方はどんな理由があるのか。また、日中どんな生活なのか。</li> <li>・利用者同士の日々の活動があると良い。</li> <li>・外部の日中活動サービスを利用している方がいることで外部との関わりがあることは評価したい。</li> <li>・基本的な生活支援の他に、暮らしを作る上で、心がけている事はどんなことか。</li> <li>・利用者が様々な場所へ通所していることで、朝の支援に課題はないか。</li> <li>・介助面の多い方が事業所内での活動になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の階の利用者と交流が来ているのが良い。イベント内容も具体的で、必要に応じ他のサービスを利用するなど柔軟な体制がとれているのも良い。</li> <li>・全ての入居者が作業所に通所しているのが良い。療養目的や精神的に不安のある利用者は、余暇支援等に対処出来ており安心感がある。また、通院等も支援員が同行し手厚い。</li> <li>・日常生活に変化があり大変良い。閉鎖的にならない取組が来ている。</li> <li>・入居者が馴染みのある場所に通所を継続し、リズムある生活を支援している。朝の通所支援には朝番の配置、夕方から夜にかけては遅番の配置があり、安定した運営が行われている。</li> <li>・入居者の希望に添った日中サービスの提供の他、地域資源を利用しての余暇の組み立て、職員負担軽減等を考慮した居宅介護支援等、利用可能なサービスを上手に取り入れて、支援に当たっていると思われる。</li> <li>・全ての入居者の方が作業所に通われることは良い。そこで、日中サービス支援型の選択はメリットが大きいのか。運営的な見方では同法人事業所か他法人事業所で違いがでる。入居者の方のニーズ重視なのか。入浴介助の居宅介護の取入れは良いと思う。</li> <li>・余暇の内容や機会に偏りがない心がけは大切だと思う。</li> </ul>
利用者に対する地域生活の支援状況について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的をもって行うことができている。</li> <li>・地域の中での体験を増やしてほしい。行事的な様々な取組は良い。</li> <li>・体験入所は、不安を解消し安心して暮らせる場の選択が可能になる意義がある。積極的に実施してほしい。</li> <li>・季節の行事など、外部の方を招いて行なっていることは評価したい。</li> <li>・外出することで利用者さんが少しでもリフレッシュできるようにしていただきたい。</li> <li>・体験入所が出来ることで、入所後のイメージが掴めるように対応してくれていることは評価したい。</li> <li>・散歩やドライブ、季節の行事に加え、利用者の方々との話し合いによると思われる目標設定等チャレンジされていて良い。</li> <li>・12人の体験なのか。12回の体験なのか。体験利用について多職種連携が組み入れ、安全な重度ケアの方の利用は大変評価できる。どのような所と連携が行われているのか。</li> <li>・個別のヘルパーさんとの余暇活動なのか、GHが主体となった企画なのか、分かるよう記載してほしい。</li> <li>・多職種の内訳を教えてください。可能であれば、事例を簡潔で構わないので教えてください。</li> <li>・外出、ホーム内での余暇を取り組まれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節を感じるイベントが行われている。</li> <li>・男性・女性棟に分かれているが、レクやイベントは一緒に行っているのか。</li> <li>・緊急対応、受けてくれる事業所があると心強い。今後も頑張ってもらいたい。</li> <li>・GH内で四季を感じられる行事が行われていることは評価したい。</li> <li>・緊急対応をしていただけるのは、とても有難い。緊急対応した障害別も記載してほしい。</li> <li>・利用者の好みや希望を取り入れたり、本人のできることを広げていくなど個々への支援内容や、利用者間の交流や支援者との関係づくりなど、住みを楽しむ取組が広がるとよい。</li> <li>・自立生活体験というより緊急受入、支援困難な方の受け入れ、また要請が多いということで、緊急受け入れを積極的に行われていることは評価できるが、入居者の支援に影響はないのか。利用者の心身へのケアは行き届いているのか。緊急保護が精一杯ではないかと心配される。</li> <li>・体験の利用人数が比較的多く、また緊急、区分の高い方も受け入れているとのことで、地域で暮らす障害を持つ方のご家族にとって心強いと思われる。</li> <li>・入居者の方と一緒に楽しむ時間になっているように感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容や機会に偏りが無いように努めているのは良い。外に出ていくという事を意識しているのがよく分かり、町会のお祭りに参加しているのも良い。</li> <li>・本人、ご家族と相談し外出や余暇活動に力を入れているのがわかる。外出支援、地活センター等も利用し様々な経験ができる体制になっている。ホーム内の友人との交流も意識的に取り組んでいる。</li> <li>・本人や家族の希望を入れて外出や余暇支援が行われており、また近くのコンビニ利用時には本人がお店の店員と挨拶や接する機会を設けたり、町会の夏祭りやイベントにも参加される等周辺の方々の理解を得よう心がけておられる等、GHの地域定着の為にとても良い視点での運営と思われる。</li> <li>・2つのGHが利用者、支援者間でとても良い関係ができていることがわかる。この中に1人体験利用で受け入れるなら、体験者への配慮と体験の目的を希望者と相談される事が必要だと思われる。その他、法人全体での体験・緊急時受け入れがしっかり組まれていると思われる。</li> <li>・区分の高い利用者様が多い中で、本人の希望を重視している点、外出の機会を大切にしている点、素晴らしいと思う。</li> <li>・余暇の内容や機会に偏りがない心がけは大切だと思う。</li> </ul>

項目	A事業所	B事業所	C事業所
支援体制の確保について	<ul style="list-style-type: none"> <li>資格を持った人が配置されている。</li> <li>有資格者の方々の配置はすごく良いと思う一方、支援の必要な方が多いようであるが、人員的には大丈夫なのか。記述の中から詳細がわからない。</li> <li>夜間2人で医ケアの対応は大変ではないのか。夜間のポジショニングもあり、職員の負担が大きように感じる。</li> <li>看護師の配置、緊急時の医療との連携の他、重度訪問介護、介護福祉士、喀痰吸引1号の取得者など重度医療ケアに必要な人材が配置され、安定した運営を感じ、評価できる。</li> <li>日中、土日を含め24時間体制の人員確保は非常に難しい中、適切に配置出来ていることについて、大変な努力をされていると思う。</li> <li>ニーズに合った支援体制が取られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土日等は、支援体制が不足しているように感じる。やはり募集は難しいのか。</li> <li>平日の日中はホーム滞在者が6人だが、土日はほとんどの人がホームに滞在になると思われる。土日の利用者さんの様子や重度ケアの方の支援でどのような事が課題になっているのか。</li> <li>どのサービスも支援体制が厳しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>病欠の職員が出た場合でも、法人全体で職員配置をサポートできる体制がある。研修の予定が細かく組まれている。</li> <li>平日と土日の支援体制もメリハリがあり、しっかり支援してると考えられる。また、職員には「行動看護従業者養成研修」も受講しており質の高い支援を目指している。</li> <li>朝番、遅番の配置、日中の支援利用や療養等の緊急時体制、土日の日中には常時複数人の常勤職員配置、家族の状況によっては通院介助など利用者、及び家族の状況にも配慮した支援体制が取られていると思われる。</li> <li>研究発表等研修会の充実、閉鎖的になりやすいGHの特性を考慮した人員配置、緊急時法人全体でカバーして行くことが、システム化している等、従業者にとって安心して働くことの出来る環境を整えていると思われる。</li> <li>夜間支援体制が手厚い。</li> </ul>
地域に開かれた運営について	<ul style="list-style-type: none"> <li>面会に必要な以上に制限をかけていないのは良い。地域住民との交流は簡単では無い場合もあるが、自分たちがイベントなどを開催し、参加してもらうことで理解を深めてもらうのも良いのではないのか。</li> <li>(過去の経験から)ボランティアの受け入れは最初は大変だが、中心となってまとめてくれるボランティアの方ができると職員の助けになることがあるので、良い流れを作れると良い。</li> <li>ご家族との交流は大切なことであり、可能な限り受け入れを実施していることに安心する。ここでは、地域住民との交流の機会はどうなのか。記載がないのでよくわからない。</li> <li>コロナ禍だったせいもあり、ボランティアの受入がないようだが、今後どのような取組を考えているのか。</li> <li>コロナ感染症が5類に移行したので、今後は家族以外の地域の関係団体や地域住民との交流ができるような機会を設けていただきたい。</li> <li>コロナ感染症が5類に移行したので、今後はボランティアの受け入れも行っていただきたい。</li> <li>ご家族にとってもご本人にとっても面会や帰省は大切な時間。また施設での支援の様子わかる家族会など、ご家族との交流を重視しておられるとのことで大変良い。</li> <li>実習生の受け入れがあり、次世代の育成を期待する。</li> <li>家族との連携が取れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者のデイサービスも様々な企画を行っている現在、治療をすることが目的の病院が面会を禁止するのは意味合いが違うと思われるため、常識的な範囲の感染対策を講じた上で交流等は行っても良いのではないのか。</li> <li>コロナ禍ということもあり難しかったと思われる。今年は、是非地域住民等の交流を図られるよう期待する。</li> <li>ボランティアや実習生等の体験の場がコロナ禍で厳しいという話がよくあった。一部の法人では感染対策をしながら受け入れを行ったと聞いている。時期や工夫をしながら頑張してほしい。</li> <li>感染等があるので難しいと思うが、家族とは短い時間でも交流していただけたらと思う。</li> <li>感染等があるので難しいと思うが、実習生やボランティアを活用して利用者が他者と関われるような環境を整えていただけたらと思う。</li> <li>重度障害のある子を託す親は心配が多い。少なくともご家族との関わりやホーム支援との信頼関係作りは必要だと思う。面会が無理な時はご本人の様子を伝えるホーム便りなど工夫されるよう信頼関係作りを期待する。</li> <li>地域のボランティアを受け入れて、入居者との触れ合いや掃除、洗濯など生活支援の補助を依頼し、支援者に余裕ができてきたと良い。</li> <li>季節的に多くの感染症が蔓延している時期かと思うが、感染症等が落ち着いたら是非再開していただけると、ご家族にとっても利用者様にとっても安心だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>帰省の際に家族が送迎できない方に援助することができるのは、そのご家族にとっても有難いことだと思われる。また、近隣住民と良好な関係を築くための工夫と努力をしている。</li> <li>支援体制、管理者・サビ管・主任補佐・職員と役割分担がしっかり出来ており、情報の共有も図られ、様々な行動に対応できるシステムが構築されている。</li> <li>コロナ感染等があり閉鎖したり療養者への対応等もあり余裕がない1年であったが、来年度以降、実習生やボランティア等の受け入れ期待する。</li> <li>本人や家族の希望によって週末の帰宅が行われ、家族との連絡には、連絡ノートや電話、SNSの活用、GH通信の配布、場合によっては家族の体調面にも配慮されており、利用者及び家族の高齢化する状況に良く対応されている。また、町会の活動にも参加され、GH周辺の環境整備などを入居者と共に実施しており、近隣住民との関係作りに尽力されていると思われる。</li> <li>良い暮らしづくりを実践されていると思う。強度行動障害など、こだわりのある利用者がおられる生活に知らない人が関わってくることは難しい事かもしれないが、後任の福祉人材のために実習生、又は就職を見越した実習ボランティアの受け入れができてきたと良い。</li> <li>日中、土日の支援にあるように、外出の機会を大切に考えていることから、地域住民の理解を得られていることが分かる。</li> <li>家族会の取組は良いと思う。ご家族の参加率は良いのか。ご家族のいない入居者のケースはどうされているか。</li> </ul>
短期入所の併設について	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急時の受け入れ先は多いに越したことはないので、可能な範囲で行っていただけの良い。</li> <li>どのような状況の方で、どのような支援を行うのか知りたい。</li> <li>緊急、一時的な受け入れは、特定認定行為に医師の指示書が必要とのことでハードルが高い。今後、検討して受入が可能な状況が出来ると良い。</li> <li>柏市内には医療的ケアがない重心障害者の短期入所施設が少ない為、医療的ケアがない重心障害者の受け入れを検討してほしい。</li> <li>体験利用を通しての方と思われる。重度ケアの方が家以外の居場所を持つ機会があることは大変良い。</li> <li>入居者の安全、利用者の安全のために慎重に受け入れを考えておられるとのことで評価できる。</li> <li>受け入れ実績が一人と非常に少ないと感じる。希望者が居なかったのか、又は、指示書が課題なのか。また、医療的ケアのない方の利用については、どのように考えているのか。</li> <li>医療的ケアの無い方(重症心身障害児・者)の緊急対応について、ハード、ソフトの面において対応可能であり、貴重な地域の資源の一つなので、積極的に受け入れていただけると有難い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急の実績がある。</li> <li>ショート等で受け入れ、人員不足の中、どのように工夫しているのか、教えていただきたい。</li> <li>緊急時対応、本人の実態をどのように把握し受入っているのか教えていただきたい。</li> <li>短期入所をしていただけるのは、とても有難い。緊急対応した障害別も記載してほしい。</li> <li>受入困難者を積極的にやっていることは評価できるが、20名の入居者とショートステイの方の支援に支援力は十分か。暮らしの場であるホームが利用者にとって安心・安全が基本だと思うが確保できているのか。</li> <li>緊急時受け入れを積極的に行っていることは評価できるが、事故、トラブルの回避、支援員の心身の負担も含めて対応できているのか。</li> <li>拠点からの緊急対応の要請に応じていただいているとのこと、様々な障害特性の方に対応していただいていることで支援の幅の広さが伺える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同一法人の他の事業所と連携を取っている。</li> <li>法人内で短期入所を受け入れる体制が整備されているとのことで、今後期待したい。</li> <li>緊急・一時的な対応、実績がない。法人内で受け入れ態勢が出来ているとのことで心強い。</li> <li>2つのGHが利用者、支援者間でとても良い関係ができている中に1人を体験利用で受け入れるなら、体験者への配慮と体験の目的を希望者と相談される事が必要だと思う。</li> <li>2つのGHが利用者、支援者間でとても良い関係ができている中、一時的な利用の受け入れには配慮が必要だと思う。その他法人全体での体験・緊急時受け入れがしっかり組まれていると思う。</li> <li>短期入所の希望は無かったとのこと。法人の運営する短期入所と連携し、その方にとり最も適切な場所を提供することについて、その方やご家族の安心に繋がると思う。</li> <li>短期入所の受け入れは共同生活援助での取組より、単独短期入所事業が取り組みやすいのか。</li> </ul>

項目	A事業所	B事業所	C事業所
<b>相談支援事業所 や他のサービス 事業所との連携 状況について</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携も難しいかと思うが、しっかり取り組んでいる様子は感心する。</li> <li>・訪問入浴について、なぜGHなのに訪問入浴を利用することができるのか。GHの施設内のお風呂に入ることができないと言うことか。</li> <li>・1人1人のケアに必要な方々との連携があり、心身への個別支援に配慮がされている。</li> <li>・連携先が多いほど、情報共有やその後の対応が難しいと思われる。非常に努力されていると思う。</li> <li>・連携が取れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調不良時の連携、訪看・訪問診療・医師の指示を受けながら対応、特に、投薬の確認等はどう工夫しているのか。</li> <li>・訪問診療や訪問看護と連携しているのは、利用者にとって安心だと思う。</li> <li>・連携の訪問看護、訪問診療がある事、評価できる。</li> <li>・利用者様が通所する事業所との連携はどのようにされているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な機関と連携している様子。また、送迎で来られた事業所の職員とも積極的な情報交換に努めていて大変素晴らしい。</li> <li>・他事業所利用者の中活動の様子や週末の様子など、連絡ノート、電話、対面での情報交換をされ、（他法人を含む）相談支援員の計画を元にGH支援計画作成、及び支援が実施されている。</li> </ul>
<b>利用者の健康管理について</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有が行われている。</li> <li>・日々の健康チェックは大切なことであるため、しっかり取り組んでいることがわかり安心する。</li> <li>・朝夕の支援者間の情報共有、記録の作成、看護師と管理者との連絡など、注意深い入居者への配慮と共に、人が変わっても同じ支援内容を心がけており、大変評価できる。</li> <li>・情報共有は非常に難しいと思う。個別のヘルパーとGHスタッフとの情報共有や申し送りはどのようにしているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チェック項目で異常があった場合の対処方法と、異常を起こさない為の日頃の工夫などがわかると良い。</li> <li>・継続をお願いする。また、薬の管理、誤嚥防止、思わぬ怪我・骨折の危険があるので事故防止等の視点も必要。</li> <li>・入居者の方の殆どが、服薬の必要な方だと思われる。お薬の管理はどのようにされているのか。医療的ケアの必要な方の支援は、どのような資格の支援員が対応されているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療職が関わり健康管理に努めている。薬の管理もチェック体制など決まりごとが確立されている。職員の同行通院がある。</li> <li>・嘱託医、看護師を中心に体制が整備されていること、日々職員による健康管理も行っており、早期の対応が可能であり安心である。</li> <li>・嘱託医による健康診断、感染対応のワクチン接種が行われ、日常では法人看護師による健康チェックが行われている。誤薬対策、高齢化による食事、生活、医療面に対するハンドブック作成など、利用者の暮らしの安全だけでなく職員が安定して支援するための対応が取られている。</li> <li>・日々の健康管理と、高齢化に伴う予防的な取組について、他の事業所の参考になると思われる。</li> <li>・嘱託医や看護師と連携が取れている。</li> </ul>
<b>権利擁護に関する事業所としての取り組み</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大変な職場だから虐待が起こるというわけでは無いが、研修だけではなく負担が集中している職員がいないかなどの配慮もあると良い。</li> <li>・権利擁護の研修に取り組み実践されており良い。なかなか全員が揃っての研修は難しいかと思う。そのあたりをどう工夫してやっているのを知りたい。</li> <li>・「身体拘束等の抑制を時間短縮を目指し多職種とも連携を図る」と記載があるが、GH内で身体拘束等が行われているのか。その場合は保護者に承諾は得ているのか。</li> <li>・研修会、マニュアル作成進んでおり、支援員間での共有を続けてお願いする。身体拘束は本人の同意の上か。どのような時に行われているのか。</li> <li>・研修会へは、個別のヘルパーも参加可能なのか。また、マニュアル等についてもヘルパー含め周知はされているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務シフトによって職員全体での研修が難しいかと思うが、どのような工夫で実施しているのか。</li> <li>・研修や勉強会は、外部から講師を招いて行っているのか。</li> <li>・障害の特性理解や必要な配慮、虐待防止、自己決定の研修を支援者共有の事としていただきたい。また、支援者間のコミュニケーション作りと相談体制を進められ、安定した支援を図られると良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴時を利用して身体的虐待のチェックができています。単なる研修だけではなく、職員の悩みなどにも配慮ができています。</li> <li>・虐待防止・身体拘束適正化委員会の設置と各事業所単位での役割もしっかり出来ており良いと思われる。</li> <li>・GHのサビ管を虐待防止受付担当者とし定期的な委員会の開催や、柏市権利擁護研修に参加し、参加後は伝達研修を行い、内容の共有がなされている。その他、特徴ある取組として、利用者の課題のみに視点が届かないような組織体（委員会）が運営され、職員が笑顔でいられるような職場作りが図られている。</li> <li>・法人の理念に基づき、若い職員を中心に委員会を設置することで、様々な相乗効果が生まれてくる仕組みとなっているところが素晴らしい。</li> <li>・委員会を設置し取組ができています。</li> </ul>
<b>現状の事業所としての課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とのつながりは、子供たちをからめるとやりやすい場合がある。(過去の経験から)吹奏楽部などをイベントに呼ぶと、子供やその親たちと絆が生まれ、そのうち運動会や学校の発表会に呼んでもらえたりすることがあった。</li> <li>・医療的なケアが必要な方や重度の障害者にとっては、周囲の方々が地域との関わりを積極的に実践していく姿勢が必要。</li> <li>・開かれた環境づくりの内容を具体的に記載していただきたい。文章だけでは分かりにくいと思う。</li> <li>・事業所がある町会は地域交流への取組に積極的な地区でもあり、福祉事業所も多く、散歩や季節行事等のふれあいの場所ができると良い。</li> <li>・事業所が考えて下さる課題と社会の課題を続けていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流などを行えない原因の一つにもなる可能性があるため、募集しても応募が無いという背景はあると思う一方、簡単ではないが、まずは職員が辞めていかないような対策が見つかるとう良い。</li> <li>・どの事業所でも人員不足が深刻。関心をもってもらえる取組と募集方法を考えられるとう良い。</li> <li>・募集をしても職員が定着しないのか。</li> <li>・重度の方の入居が多く、1人1人への支援の密度が高く、支援の手は重要だと思う。ボランティア受け入れを進められ、少しでも支援に余裕が持てると良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題が沢山あるが、これらは法人だけでは対処できない課題であり、お互いに一緒に考え国・市を含め取り組んでいく必要性を痛感している。</li> <li>・GHの日中利用者や終末期への医療機関との連携、強度行動障害者の外出支援事業所の広がりが必要、親の支援なきあとの後見制度利用の課題等、高齢化、重度障害者の暮らしに必要な課題感を持って運営されている。</li> <li>・記載されている課題は、GHを運営する事業所共有の課題と思われる。</li> <li>・終末期を迎えられる方への対応は、どのサービスでも人員配置で課題が出てしまうと感じる。</li> </ul>

項目	A事業所	B事業所	C事業所
利用者の日々の生活の事例について	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に体位交換を行う体制がとれている。</li> <li>医療的な支援のスケジュールがメインになっており、医療的なケアの合間にごのような取組をしているのか記入してほしい。</li> <li>丁寧に安定した支援が組まれている。</li> <li>GHスタッフの担当時間と個別ヘルパー担当時間と分かるよう記載していただくと分かりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リフト移乗が必要な方にも移動支援での外出を行うことができている。</li> <li>職員不足の中、日々の生活の支援は難しいかと思うが、偏りがなく支援する方法等教えていただきたい。</li> <li>このような個人との関わりがあると安心する。重度受け入れのために支援が保護中心になっていないかと心配される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者のニーズを職員間で共有し課題解決につなげることができている。</li> <li>問題行動があったり、生活のリズムが異なったり様々な方が入居している。個々の生活のスタイルを尊重しながら個別対応を実践している。</li> <li>重度支援の必要な利用者に対して、職員間で良く情報を共有され、話し合いを重ねて本人のこだわりや特徴に寄り添って根気よく支援されている。</li> <li>課題行動の有る方の支援について、職員が共通の認識をもち支援に当たる事で、暮らしやすさに繋がる良い事例だと思われる。</li> <li>入居者本人の思いを大切にしている取組がされている。</li> </ul>
職員研修について	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修内容、対利用者への支援以外にどんな研修内容で実施しているのか。一部の法人では、例えば、「苦情対応は」「ハラスメントとは」など緊急時対応等も実施しているが。</li> <li>ポジショニング研修は利用者にも協力していただき、研修を行なっているのか。</li> <li>ポジショニング研修の回数が多い事から褥瘡予防の必要が高いことが窺える。支援者の身体・心理面への負担軽減研修は必要なのか。</li> <li>研修は、ケアに入っているヘルパーさんも受講可能なのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月課題を振り返る機会があるのは良い。研修も強制なのに無給だったり時間外の負担が多すぎると離職につながる場合もあるので、その辺りも気にしながら行えると良い。</li> <li>利用者個人々に合わせた研修を実施してほしい。やはり個人々の障害特性や配慮すべき事柄など職員間で共通理解を図ることは大事だと思われる。</li> <li>福祉に経験のない支援員や世話人はどのくらいいるのか。障害の特性理解、虐待防止、災害時支援、支援員間の相談・支援力アップ等のGH運営に必要な研修はどのように行われているのか。</li> <li>毎月定期的に研修が行われて良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職場内での昇進や自身のスキルアップに向けた研修は、職員の士気の向上にもつながり良いと思われる。</li> <li>事業内職業能力開発計画の基、新規採用者へはOJTトレーナーを配置し中堅職員の育成を兼ねて実践している。また、グループ単位で研修レポートを作成し発表している。法人あげて研修体制ができていることは素晴らしい。</li> <li>日常の支援や権利擁護、災害時支援研修のみでなく、事業内職業能力開発計画を作成し、人材育成に取り組まれている事、新規採用者に対してOJTトレーナーを配置し、職員相互の支援力・相談体制など良い取組がされていると思われる。</li> <li>人材育成、人材定着の取組として、OJTトレーナーを配置すること、中堅職員の育成に繋がることの取組は評価出来る。</li> <li>良く取り組まれている。</li> </ul>
高齢化・重度化への対応について	<ul style="list-style-type: none"> <li>そもそも重度の方が多いので、日々の生活の事例をみても対応力があることが分かった。</li> <li>専門的なスタッフが配置されており、高齢化・重度化への対応ができる体制で安心する。</li> <li>高齢化、重度化に対応出来るように対応していることは評価したい。</li> <li>高齢者施設経験者もおられるので、高齢化に伴う思わぬ怪我や骨折、誤飲、など視点を明確にして共有しておくが良い。</li> <li>医療職を配置していること、訪問診療等との連携が既に取られているので、身体的な変化については非常に心強いGHだと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害のGHは、介護保険申請前に利用している人はそのまま利用できたと思うが、高齢化しても住み慣れた場所で生活できると良い。</li> <li>重度化・高齢化の方々を対象にしたグループホームだと思う。利用者の身体的変化、状態に応じて受け入れ側が改善して欲しい。</li> <li>「重度化・高齢化した場合は適切な住まいに移って頂き～」と記載があるが、新たな住まいを探していただけるのか。それとも利用者が自分で探すのか。入居の際に、重度化・高齢化した場合の対応はお話しされているのか。</li> <li>重度・高齢化の方のGHとして、定着に向けての支援の充実や入居者や家族との関係作りが大事なのではないか。住まいづくりではなく、緊急時受け入れのGHなのか。</li> <li>日中支援型GHは、「重度化・高齢化」した方の住まいの場であることから、適切な住まいとなるような計画が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先を見越した対策を講じている。</li> <li>高齢化・重度化への取組、ハンドブック等、先進的な取組がなされており素晴らしい。</li> <li>当GH運営から加齢化課題を感じて生活習慣病や認知症等について研究会ができて、支援の実施、検討が進められていることなど、必要な対応が重ねられていると思われる。</li> <li>勉強会の設置、具体的にはハンドブックの作成、また、血液検査項目の追加、利用者のみならず保護者の高齢化の徴候の共有、素晴らしい取組であると思われる。</li> <li>勉強会の設置など、良く取り組まれている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ自粛が明け、行動範囲が広がった分、感染を受け入れやすくなり、いろんな人との交流が実際には難しいところだと思う。支援者と入居者との良い関係作りを期待する。</li> <li>今回、対面の機会が無かったため、質問が多くて申し訳ない。良い取組が共有できる機会になればと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間の引継ぎが上手くいってない様子。連携している事業所からよく聞く。職員間の引継ぎ方法を見直してほしい。</li> <li>日中支援型GHの認識が違うような気がする。でも、緊急時受け入れ先が少なく、地域からの要請があるという現状でもあることだと思う。13の部分の現状認識は一考すべき課題と思われる。</li> <li>対面での聞き取りの機会が無かったため質問が多くなり申し訳ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GHについて詳しく記載されているが、見学していないので実際のGH内の状況が分からない中、どのように文章だけで回答して良いか分からない。一人一人のニーズに対応しているのは素晴らしいと思われる。ただし、職員への負担は大きいのではないかも思う。法人内での多様な研修制度もあり、また成年後見制度についても利用者、保護者の方には心強いと思う。利用者の終の住処になるようなGHになっていただけたらと思う。</li> <li>日々の生活支援にとどまらず、法人としての高い目標を持ち、多方面への取組をされていること、この日中支援型GHにおいても利用者及び家族への支援を含めて暮らしづくりを心がけておられること、頭が下がる。</li> <li>預り金の取組はどうされているか。</li> </ul>